

長崎こども社中塾
～空き家 de こどもの城づくり～





塾長 大西 博子

■ 塾長コメント ■

塾の存在も知らなかった私が、市民活動を始めることになったきっかけ。それは、長崎伝習所のつながり事業「ファシリテーター養成講座」での津屋崎視察。初めて触れるまちづくりの取組みや、そこで出会う哲学。そして、一緒に参加した方の想いを持った真剣な取組み。そんな視察に参加させていただいた時のこと。私が大好きだった祖母の家。何とか維持できないものか…「では、その家でやってみたいことは？」との質問。

「こどもの寺子屋があればいいのに！こどもの頃に自分が楽しかった体験を、今のこどもにも体験してほしい。色んなことに挑戦してほしい。楽しい思い出をたくさん作ってほしい。それがあれば一度は長崎を離れても、また楽しかった長崎に戻ってくるのではないかな。遊ぶ中で挨拶や礼儀が自然と身に付けば素敵なのに…。」そんな私の想いを聞いていただきました。その想いは、あっと言う間に実現へ…。こうして自分ができること、自分に興味があることをまちづくりに活かすことが始まったのでした。

ここまで来られたのは、あの時に想いを受け止めてくださった方をはじめ、塾生や事務局、活動に参加して下さる多くの方がいらしたからです。皆さんに支えられてここ

まで来ることができ、感謝に堪えません。そして、一緒に活動して下さっている方と想いを実現していく楽しさはやめられません。これからも想いを持って活動していきたいと思えます。

■ 塾の目的 ■

長崎らしい町並みを残せないか、点在する空き家を有効活用できないか、こども達が生き生きと遊べる場所がつかれないか、こども達が様々な体験をできる場所がつかれないか…。

長崎は坂や階段が多く、そこに存在する空き家は住宅としては不向きですが、時々行く「遊び場・体験館」となれば、その環境も楽しめるのではないかと考えます。

長崎のこども達が、「静」と「動」を基本とした体験活動を楽しみながら、考え、行動し、礼儀を学び、ふるさと長崎で育ったことを誇りに想う心をもって健やかに成長していくことができるよう、様々な体験活動の創出を目的とし、町の活性化を目指します。



■ 塾の研究・活動内容 ■

今年の主な活動は 4 つ。①空き家の見学、②体験イベントの実施、③こどものニーズ調査、④講演会の開催。その他、広報係をたて、Facebook 開設。塾生同士の情報交換や連絡はグループ LINE をメインとし共有化。定例

会は月1回とし、イベントや講演会の前には月に数回の会議を行い準備してきました。

①空き家の見学では、室内の劣化や所有者の問題など発見し、前期は主に見学や事例を通しての勉強会とし、「子ども達が遊びながら、自分達で学んでいく」この目的を達成するには何をしたらいいのかを考えていきました。後期は2本柱で活動。②体験イベントを実施その際に③ニーズ調査として、アンケート調査しニーズの把握や次のイベントを企画する際の参考としました。④他県の空き家活用や再生の事例を参考とし、今後の活動拠点のヒントにすることを目的として講演会を開催しました。

■ 塾活動の成果 ■

多くの皆さんに塾の活動を知ってもらう為、Facebook では、塾の目的や活動内容を随時お知らせ、記録しています。

①前期の勉強会では子ども達が自ら遊びを生み出すことや安全管理の重要性を学び、活動のヒントになりました。また空き家活用の町見学ではどういった空き家を塾の活動拠点とするのか、空き家が先か、思いが先か、資金作りかコミュニティ優先か等、色んな視点で考えさせられました。そんな中、イベントの場になったのは、斜面地の空き家を活用し、地域の魅力を発信している団体の古民家。

②築70年の古民家で、私たちは長崎の文化や日本家屋の良さを体感できるような内容を考えました。参加者は小学1年から5年生



の近隣の子ども達、男女合計15名。体験内容は4つ準備。子ども達はやりたいことを自由に挑戦。物づくりは見本から始め

ましたが、オリジナル作品もでき上がりました。子ども同士で教え合いながら自分達で解決していく場面もありました。

③今回のイベント実施後の子ども達のアンケート結果で見えてきたことや保護者の方からの貴重なご意見を踏まえながら次の企画を考え、子ども達がやりたいことに出会い、自ら企画して実現できる場「こどもの城づくり」に近づいていきたいと思えます。

今回は大人も同時に古民家を体験。その良さや斜面地の暮らしの一部を感じていただくこともできたのではないのでしょうか。



④講演・パネルディスカッションでは、1日目の空き家再生セミナー・パネルディスカッションに続く第2弾で塾主催。視点を変えた内容で開催。空き家活用で有名な尾道の豊田氏、長崎で子どもと関わる活動をされているパネリストの方と一緒に、空き家と子どもの体験の場を考えました。23名の方にご来場いただき、参加者からの質問も活発で関心の高さが伺えました。これをきっかけにできた横のつながりが広がるよう、継続した活動を目指したいと考えます。また塾生や事務局と一体になってすす



めてきた過程を大事に、一つ一つの計画を実行して、実績を重ねていきたいと思えます。

長崎子ども社中塾 ～空き家 de こどもの城づくり～ 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 28 年		
5 月 16 日(月)	長崎県勤労福祉会館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議
6 月 22 日(水) 19:00～19:30	グループライン	第 2 回 塾会議 ニーズ調査について。調査方法の検討。
7 月 13 日(水) 19:00～21:00	長崎市中央公民館	第 3 回 塾会議 空き家が期間限定利用となり、イベント内容を検討。
7 月 21 日(木) 18:00～21:30	夫婦川町の空き家	空き家の調査、第 4 回 塾会議 空き家の状態を確認。問題点の共有。アイデア発散。
8 月 17 日(水) 10:30～16:30	高平町「てつなぐ」	「てつなぐ」見学 成立ちや資金調達、活動内容等を 2 班に分かれ見学。
9 月 7 日(水) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 7 階 和室	第 5 回 塾会議 中間報告会等の共有。他の古民家の利用を検討。
9 月 25 日(日) 19:00～21:30	南山手町「つくる邸」	「つくる邸」見学 活動内容やコンセプトの紹介。今後のコンサル依頼。
9 月 30 日(金) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 7 階 和室	第 6 回 塾会議 コンセプト、イベント内容、対象者等の検討。
10 月 5 日(水) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 2 階 第 2 研修室	第 7 回 塾会議 イベントの詳細決定。申込期日や案内配布日の決定。
10 月 13 日(木) 19:00～21:30	南山手町「つくる邸」	第 8 回 塾会議 イベントチラシ案の作成。タイムスケジュール確認。
10 月 19 日(水) 18:30～21:00	長崎市アマランス 1 階 第 1・2 研修室	中間報告会
10 月 27 日(木) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 2 階 第 2 研修室	第 9 回 塾会議 イベントチラシ確定版の共有。内容と各担当の決定。
11 月 19～20 日 8:30～20:30	福岡県福津市津屋崎・ 佐賀県古湯温泉	津屋崎ランチ・古湯図書館「暁」視察 空き家再生の取り組み紹介。町並み見学など。
11 月 22 日(火) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 2 階 第 1 研修室	第 10 回 塾会議 伝習所まつりの内容とレイアウト検討。講演会検討。
12 月 12 日(月) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 2 階 第 1 研修室	第 11 回 塾会議 イベント参加人数、プレの確認。講演会現状報告。
12 月 23 日(金) 9:00～15:30	南山手町「つくる邸」	体験イベントのリハーサル、第 12 回 塾会議 流れや必要品の再確認。講演会の流れと役割確認。
平成 29 年		
1 月 5 日(木) 19:00～21:00	長崎市中央公民館 2 階 第 1 研修室	第 13 回 塾会議 イベント最終確認。伝習所まつり確認。講演会検討。

日 時	場 所	内 容
1月15日(日) 9:00~16:00	南山手町「つくる邸」	体験イベント開催 段取り確認。アンケート実施。講演会の現状報告。
1月22日(日) 10:00~12:00	市民活動センター 「ランタナ」	講演会の準備 チラシ印刷。チラシ配布。
1月29日(日) 10:00~16:30	市民活動センター 「ランタナ」	第14回 塾会議 講演会役割分担の整理。パネラー当日依頼文書作成。
2月10日(金) 14:00~17:30	長崎原爆資料館ホール	空き家再生セミナー・パネルディスカッション 意見交換会
2月11日(土) 10:15~11:30	長崎市立図書館2階 第2~4研修室	空き家と子どもの体験の場を考えよう 講演&パネルディスカッション
2月18日(土) 13:00~16:00	市民活動センター 「ランタナ」	第15回 塾会議 伝習所まつり・報告書・成果品の確認、役割分担。
3月2日(木) 19:00~21:00	市民活動センター 「ランタナ」	第16回 塾会議 伝習所まつり・報告書・成果品の経過報告、準備。
3月19日(日) 9:00~14:00	市民活動センター 「ランタナ」	伝習所まつりの準備 各種印刷。(パネル掲示用、体験イベント用、案内板)
3月20日 (月・祝)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 調査内容パネルの展示、クイズなどを実施

■見学会・勉強会



盛夏の候、空き家見学からスタートしました。構造体の劣化は見られませんが、室内の劣化や所有者の問題などが発生しました。次に活動のヒントとして、長崎の高平町にある「てつなく」さんを見学。こちらは空き家を改修し、子どもの居場所として、住みびらきされています。少人数での見学。2班に分かれて見学をさせていただきました。

■イベントの場



空き家活用の実例見学第二弾として、南山手にある「つくる邸」さんを見学。学生時代から空き家を探して、地域と交流しながら地域の良さを発信し続けている活動方針にも共感。こちらの古民家をイベントの場として、お借りする事になりました。子ども達が何をしたら喜んで動くか、最近はなかなか出会うことのない和室や障子の面白さを満喫させるため

の仕掛けやアイデアを出し合いました。



■11/19-20 津屋崎・古湯の視察研修



福岡の津屋崎や古湯温泉の泊まれる図書館では、空き家の再生利用の話を聞いて、実際に活用されている町を見学。使っている方々のお話を聞かせていただきました。野母崎夢塾さんと一緒に参加をさせていただき、お互いの情報交換もできました。ありがとうございました。

■1/15 第1回体験イベントの開催



南山手町にある「つくる邸」さんをお借りして、「あれこれつくるイベント」を開催。

日本ならではの、長崎ならではの子ども向け体験イベントとして、小学生を対象に開催しました。切り絵、ハタ作り、お茶体験、ピザ作りの4種類を準備。二間続きの部屋を2つに仕切り、一度に2種類の体験を実施しました。どちらか一方のみに夢中になっていたり、何もしなかったり、外で遊んでいる子どもがいたり…。思い思いのことをやっていたり、マシュマロを焼くときには、全員集合！皆で時間を共有しました。

今回のイベント実施後の子ども達へのアンケートでは、畳や障子、ふすま、縁側など、体験した古民家にあるものを見て、自分の家にはないものを探してもらいました。結果については下記の通り。

【体験イベントアンケート集計表】

■ 参加人数内訳

学年	(単位：名)					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	合計
男の子	1		2	1	1	5
女の子	1	1	4	4		10
合計	2	1	6	5	1	15

■ 体験内容別比較

	(単位：名)								体験者の内、楽しかった割合
	切り絵		ハタ		お茶		ピザ		
	体験者数	楽しかった	体験者数	楽しかった	体験者数	楽しかった	体験者数	楽しかった	
男の子	5	1	5	4	3	1	5	3	50%
女の子	10	9	5	3	8	6	10	10	85%
合計	15	10	10	7	11	7	15	13	73%

■ つくる邸と

自分の家の違うところランキング

	(単位：名)
窓が多かった	12
畳がたくさんあった	10
障子やふすまがあった	9
古かった	8
景色がよかったです	8
気持ちよかったです	7
庭があった	7
縁側	7
のんびりできた	5
暑かった	5
広かった	4
(その他)	
テレビがなかった	2
物が売ってあった	1
いろいろな部屋があった	1

■ 古民家の好きなところは？

(好き：100% 苦手：0%)

	(単位：名)
景色がよい	4
落ち着く	3
昔のことが知れるから	3
遊ぶところがたくさんあるから	2

■ 古民家でやってみたいことランキング

	(単位：名)
虫探し	3
かくれんぼ	3
飛ごっこ	2
ゴムとび	1
ぬりえ	1
木を使った小物作り	1
毛糸を使って洋服作り	1
料理	1
生け花	1
かるた	1
読書	1
昼寝	2

保護者の方のアンケート結果では、スタッフの名札着用や昼食時間への配慮などのご意見をいただきました。また安心して参加いただけるよう、PR活動も継続したいと考えます。

今回、ご参加いただきました皆様、たいへんありがとうございました。またつくる邸の方々、事前の打合せから、当日の手伝いに至るまでご協力をいただきまして、ありがとうございました。企画から実施まで、活動に関わっていただきました皆様、たいへんおつかれさまでした。

■2/10 空き家再生セミナー&パネルディスカッション、意見交換会の開催



県主催、塾の共催で開催。空き家を再生・活用されている尾道の豊田氏や長崎県内で空き家を再生・活用し、活動をされている方々のお話は、今

後の活動拠点を考える塾生にとっても参考になるものでした。セミナー終了後には、講演された尾道の豊田氏やパネラーの方、関係者の方々との意見交換会もありました。

■2/11 空き家と子どもの体験の場を考えよう講演&パネルディスカッションの開催

空き家を再生活用する方法、また子どもの体験イベント実施はどういった場所がいいのか、今後の塾活動のための勉強会として、また一般の方と一緒に考える機会となりました。同じ坂の町である「尾道」の豊田氏の講演は、空き家の再生活用から始まり、人を集めることや資金作りなどアイデアに富んだ幅広い内容でした。また長崎で活動をされているパネリストの方からは、子どもと関わった特色のある活動をご紹介いただきました。

■3/20 伝習所まつり

子どもの体験コーナーを設置。体験内容は2種類とし、お茶と切り絵に挑戦してもらいました。お茶はいただき方をメインとし、切り絵は長崎ならではのオリジナルを準備し、カレンダーを作成してもらいました。パネルではこれまでの活動紹介やアンケート結果などを掲載しました。掲載内容は下記の通りです。



開催にあたり、準備作業の中には多くの学びがありました。講演の趣旨・対象者などを決めることから始まり。講演者やパネリストの方への連絡・打合せ。チラシづくりから、印刷、配布。当日の資料準備、会場設営。そして司会進行に至るまで、少数精鋭の塾生と打ち合わせを重ね、実現しました。事務局の方々をはじめ、多くの方からお力添えをいただき、また当日は雪が降る寒い中、お越しくださった方々にもたいへん感謝しております。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

■Facebook の開設

活動のお知らせや活動記録の場になっています。広報系のコメントは必見です！自ら写真を写して掲載してくれているので、広報係は写真上ではなかなかお目見えしません(笑) ぜひぜひ、長崎子ども社中塾へ遊びにお越しください。楽しい空間を共有しませんか♪

長崎子ども社中塾

～空き家d e こどもの城づくり～

長崎らしい町並みを残さないか、点在する空き家を有効活用できないか、子ども達が生き生きと遊べる場所がつかれないか、子ども達が様々な体験をできる場所がつかれないか、...

長崎は坂や階段も多く、そこに多く存在する空き家は住宅としては不向きですが、様々な「遊び場・体験館」となれば、その価値も家としてのないかと考えています。長崎の子ども達が、「静」と「動」を基本とした様々な体験活動を楽しみながら、考え、行動し、礼儀を学び、ふるさと長崎で育ったことを誇りに思う心をもって健やかに成長していくことができるよう、様々な体験活動の創出を目的としています。



平成 28 年度の活動内容

- 短期研修・見学
 - ・空き家の見学
 - ・高平町「てつなく」視察
 - ・南山手町「つくる部」視察
 - ・福岡県糟屋市「津屋崎プランチ」視察
 - ・佐賀の吉屋温泉「包まれる湯籠館」視察
 - ・広島県尾道市「尾道空き家再生プロジェクト」視察
- 主催イベント開催
 - ・第1回目「つくる部」にて、「あれこれつくるイベント」
 - ・空き家再生セミナー＆パネルディスカッション ※長崎県との共催
 - ・空き家と子どもの体験の場を考えよう 講演＆パネルディスカッション

様々な体験の場づくりを一緒に企画、実現しませんか！？

平成28年度は主に、見学や事例を通しての勉強会を行いました。
平成29年度は主に、体験イベントの実践を行います。また子ども達のアンケート結果を踏まえて、体験イベントの企画、実施を行います。

平成 29 年度の活動予定

- 短期研修 または 勉強会の開催
 - (目的) 体験イベントの活動にヒントをもらいます
 - (内容) 子どもに関係した活動の実践者に話を聞きます
 - 体験イベントの定期的開催の計画づくり
 - (目的) 様々な体験の場を定期的に作り、実践を積み重ねます
 - (内容) 体験の場をどこにするか 体験の内容をどうするか 対象者は？等の年間計画を立てます
- 「例えば」
- ・ 8月 浴衣を着て、お出かけしよう！
 - ・ 9月 おもてなし湯になろう。おじいちゃん、おばあちゃんを連れて来よう！
 - ・ 10月 心田庵で、和の体験。お茶をたてて、お月見しよう！
 - ・ 11月 出場で、昔遊びをやってみよう！
 - ・ 12月 吉原家で、あれこれつくるイベント！

一緒に活動をして下さるか、興味のある方は、是非、お声をください！ やってみたいことはありますか？ できることから始めてみませんか？

空き家をお持ちの方で、活用を考えていらっしゃる方、ご興味を持って頂ける方がいらっしゃいましたら、是非、ご相談ください！

☎活動情報はコチラへ、Facebook ページ
https://www.facebook.com/kodomochohakuu719efhs



☎他にもお問い合わせはコチラへ、
TEL 095-629-1125 <長崎伝習所事務局>
E-mail denishusho@city.nagasaki.nagasaki.jp





○2月10日(金)大雪予報が出た日に、「北海道空き家再生プロジェクト」代表理事の豊田雅子さんと、県内で空き家再生活用しているりるの方々による講演とパネルディスカッションを開催しました。
 ○当日は190名近い参加者が熱心に耳を傾け、満足度の高いイベントにすることができました。



空き家と子どもの体験の場を考えよう

毎日の暮らしを彩る「体験の場」
 平成29年11月1日(土)に長崎県立図書館で開催して
 豊田さんの講演、子どもの体験場や子育ての活動目的の共有を促して
 「空き家ディスカッション」を開催しました！！

豊田 雅子さん
 北海道空き家再生プロジェクト代表理事
 講演内容：空き家再生活用事例の紹介、空き家再生の意義、空き家再生の課題、空き家再生の未来について

パネリスト紹介
 豊田 雅子さん、豊田 美穂さん、豊田 美穂さん

■成果品の作成

活動紹介として、三つ折りのリーフレットを作成しました。長崎子ども社中塾の活動目的、これまでの活動内容を掲載し、今後のネットワークづくりに役立てていきたいと思います。

平成28年度の主な活動内容

- 空き家再生セミナー (2月)
- 空き家再生セミナー (3月)
- 空き家再生セミナー (4月)
- 空き家再生セミナー (5月)
- 空き家再生セミナー (6月)
- 空き家再生セミナー (7月)
- 空き家再生セミナー (8月)
- 空き家再生セミナー (9月)
- 空き家再生セミナー (10月)
- 空き家再生セミナー (11月)
- 空き家再生セミナー (12月)

子ども体験コーナー



体験イベント

「空き家再生セミナー」
 「空き家再生セミナー」
 「空き家再生セミナー」

《塾生の感想》

こども達に“モノづくり”などを体験してもらう取り組みには、多少の経験と人的情報をもっていたので、「長崎こども社中塾」に参加しました。こども達が興味関心を持てる取り組みは行えたが、量的には物足りなさを感じたので今後の取り組みに頑張りたと思っています。(佐藤義弘)

津屋崎の自由会議で、子どもの時の習い事体験について熱く語っていた大西さんが、本当に塾活動を立ち上げるなんて…あの時は思いもしませんでした。

たくさんの経験をするこども達の未来が有意義で、可能性のあるものになればいいなと、そしてそのお手伝いが少しでもできればと参加しました。スムーズにいかないこともありましたが、楽しくて達成感タップリのイベントもできました。この1年間の経験で、やれることやれないこと、何を目指しているのかなど今後の活動に向けて整理ができたように思います。塾長、頑張りましょう！(前田裕子)

空き家を活用して、こども達に日本文化に触れる機会を与えたいという大西塾長の熱い思いに惹かれてこの活動に参加しました。

野外のイベントでは、保護者も興味を持たなければ、こどもだけで参加するのは難しいものです。住み慣れた地域の中に、安心して遊んだり体験できる場があれば、こども達も普段家ではできないことに挑戦できると思います。

たくさんの方の協力を得ながら、こども達と共に楽しみ成長できる塾にしていきたいです。(諸谷ふみ)

空き家を活用というテーマにひかれてこの塾に参加しました。

活動の中では実際に空き家も見学させていただきましたが、それより普段は知ることが無かった魅力的な子供の居場所が市内に複数あることの方が新鮮な発見でした。どのような形にせよ、子供という声を上げにくい人間がくつろげる居場所が実現できるよう継続したいとおもいます。(森泉)

長崎こども社中塾 ～空き家 de こどもの城づくり～

塾長	大西 博子				
1	池田 千愛	21		41	
2	梅田 響基	22		42	
3	佐藤 義弘	23		43	
4	前田 裕子	24		44	
5	森 泉	25		45	
6	諸谷 ふみ	26		46	
7	山口 和美	27		47	
8	山崎 かおり	28		48	
9	山崎 睦子	29		49	
10		30		50	
11		31		51	
12		32		52	
13		33		53	
14		34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		事務局員	こどもみらい課 井上 真人
20		40		事務局員	住宅課 清竹 信彰